

### 3. 流域の産業経済状況

#### 3-1 土地利用

上流部が山地帯であることから、土地利用の用途別構成は、宅地の占める割合が約4%と少なく、水田を中心とする農地が約17%、山林・原野・雑種地等が約79%を占めている。

表 3-1 関川流域関連市町村の土地利用状況

県名	市町村名		総面積	田	畑	宅地	池沼 <sup>1)</sup>	山林	原野 <sup>2)</sup>	雑種地 <sup>3)</sup> その他
	新市名	旧市町村名								
新潟県	上越市	上越市	24,924.0	5,397.2	683.2	2,466.1	2.8	3,684.5	429.1	12,261.1
	頸城区	頸城村	3,830.0	1,685.6	197.9	393.8	0.0	489.1	87.4	976.1
	安塚区	安塚町	7,023.0	648.3	127.1	80.7	14.9	1,655.8	823.1	3,673.1
	板倉区	板倉町	6,651.0	1,484.1	306.6	220.8	1.3	1,025.7	199.1	3,413.4
	三和区	三和村	3,936.0	1,610.9	106.8	211.4	13.2	690.0	142.8	1,161.0
	浦川原区	浦川原村	5,064.0	680.6	155.9	103.7	0.0	1,686.3	130.9	2,306.4
	大島区	大島村	7,164.0	698.0	104.2	67.6	27.1	3,356.7	1,398.3	1,512.1
	牧区	牧村	6,135.0	1,107.2	165.9	66.2	0.9	1,857.8	43.8	2,893.2
	清里区	清里村	3,754.0	730.4	77.1	75.5	5.7	758.1	136.0	1,971.2
	中郷区	中郷村	4,355.0	434.6	126.5	178.8	1.8	635.2	420.7	2,557.5
	新潟県	妙高市	新井市	17,613.0	2,017.4	699.1	611.7	4.2	2,954.2	692.4
妙高市		妙高高原町	12,857.0	130.6	95.6	284.0	0.0	1,601.3	1,015.1	9,730.4
長野県	飯山市	飯山市	20,232.0	2,297.0	2,216.2	611.5	90.4	7,843.1	1,746.1	5,427.8
	信濃町	信濃町	14,927.0	1,083.6	729.3	509.1	476.2	9,022.4	867.0	2,239.4
	長野市	戸隠村	13,276.0	271.0	665.1	140.4	0.3	8,412.5	1,223.0	2,563.8
関川流域計			165,823.0	20,838.1	6,650.4	6,195.5	639.6	53,008.1	10,884.3	67,607.1

1) 鉱泉地と池沼の計。 2) 牧場と原野の計。

3) ゴルフ場、遊園地、鉄軌道用地等の計

出典：第113回新潟県統計年鑑 2002、ながの県政要覧 平成14年版

※数値は合併前の市町村人口による

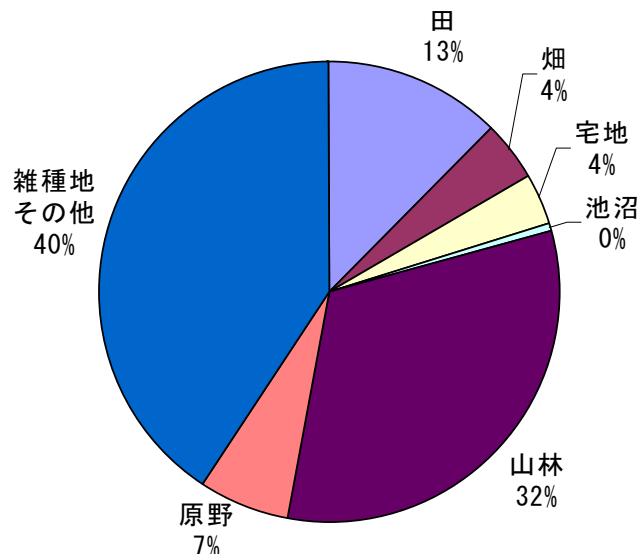


図 3-1 関川流域関連市町村の土地利用状況

### 3-2 人口

関川流域市町村の総人口は、国勢調査によると昭和60年から平成12年にかけてやや減少傾向（0.3%の減少）にある。流域人口の変化傾向を見ると、上越市が全体の50%を占め、人口が集中する一方で、上流山間地では人口が減少しており、特に安塚区、大島区における人口減少率は、10%を超えている。

表 3-2 関川流域内市町村別の人口推移 (単位：人)

県名	市町村名		昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年		増減率 (%)
	新市名	旧市町村名				人口	割合	
新潟県	上越市	上越市	130,659	130,116	132,205	134,751	51%	1.9
	頸城区	頸城村	8,238	8,420	9,010	9,538	4%	5.9
	安塚区	安塚町	5,305	4,691	4,176	3,733	1%	△ 10.6
	板倉区	板倉町	8,599	8,225	7,843	7,534	3%	△ 3.9
	三和区	三和村	6,541	6,397	6,452	6,284	2%	△ 2.6
	浦川原区	浦川原村	4,774	4,526	4,388	4,202	2%	△ 4.2
	大島区	大島村	3,391	3,100	2,776	2,480	1%	△ 10.7
	牧区	牧村	4,100	3,659	3,294	2,991	1%	△ 9.2
	清里区	清里村	3,417	3,290	3,158	3,217	1%	1.9
	中郷区	中郷村	6,016	5,668	5,572	5,259	2%	△ 5.6
新潟県	妙高市	新井市	28,500	28,325	28,118	27,882	11%	△ 0.8
	妙高市	妙高高原町	7,351	6,986	7,129	6,685	3%	△ 6.2
		妙高村	5,852	5,761	5,497	5,132	2%	△ 6.6
長野県	飯山市		29,034	28,114	27,423	26,420	10%	△ 3.7
	信濃町		11,909	11,552	11,355	10,391	4%	△ 8.5
	長野市	戸隠村	5,866	5,608	5,218	4,938	2%	△ 5.4
合計			269,552	264,438	263,614	261,437	100%	△ 0.8

出典：国勢調査 昭和60年～平成12年 総務省統計局

※数値は合併前の市町村人口による

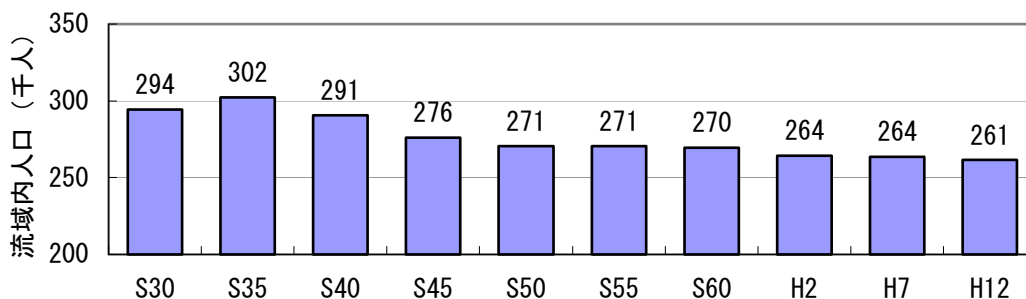


図3-2 関川流域内市町村人口の推移 (昭和30年～平成12年)

出典：国勢調査昭和30年～平成12年 総務省統計局

### 3-3 産業経済

平成12年度における産業別就業人口割合は、表3-3に示すとおりである。第1次産業就業者は、開発による農地の放置や他産業への就職等から減少し、第2次産業就業者は、高速交通体系の整備を背景とした企業進出や工業開発に伴い34%程度の就業率を維持している。雇用吸収力の高い第3次産業就業者にあつては、全体の56%の就業率となっている。

表3-3 関川流域市町村の産業別就業人口（平成12年度）（単位 人）

県名	市町村名		総数	産業別就業者数		
	新市名	旧市町村名		第1次産業	第2次産業	第3次産業
新潟県	上越市	上越市	68,434	2,352	22,332	43,750
	頸城区	頸城村	4,743	404	2,030	2,309
	安塚区	安塚町	1,984	461	710	813
	板倉区	板倉町	4,008	668	1,637	1,703
	三和区	三和村	3,202	429	1,246	1,527
	浦川原区	浦川原村	2,204	348	762	1,094
	大島区	大島村	1,320	283	503	534
	牧区	牧村	1,717	499	591	627
	清里区	清里村	1,708	281	660	767
	中郷区	中郷村	2,742	304	1,240	1,198
		妙高市	新井市	14,501	1,404	6,150
		妙高高原町	3,481	122	820	2,539
		妙高村	2,762	435	873	1,454
長野県	飯山市		14,853	3,917	3,944	6,992
	信濃町		5,658	798	1,863	2,997
	長野市	戸隠村	3,075	855	655	1,565
流域	総就労者数		136,392	13,560	46,016	76,816
	割合 (%)		100	10	34	56

出典：第113回新潟県統計年鑑 2002、ながの県政要覧 平成14年版

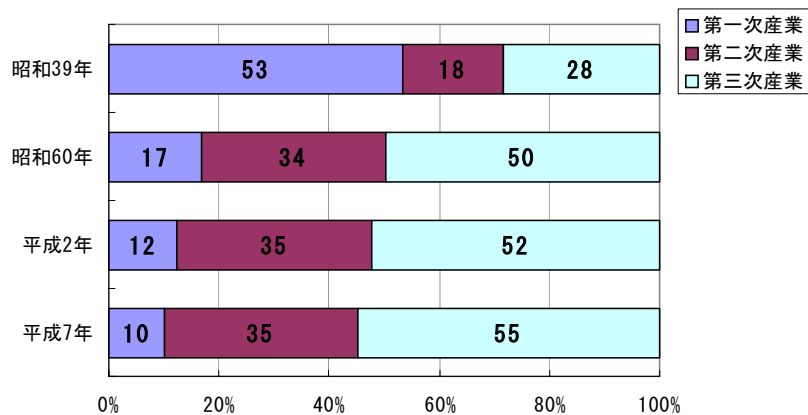


図3-3 関川流域関連市町村の産業別就労者数の推移 出典：河川現況調査

第一次産業である農業（特に稲作）は、昔からこの地域の主要産業であり、下流域に広がる高田平野は良質な新潟米の一大産地となっている。年々、農家人口は減少し、兼業の形態が増えているものの、依然、流域を代表する産業である。

工業については化学工業を中心に盛んであり、その成り立ちにおいてはこの地独自の特異性がみられる。上越地域の近代工業は、明治期から始まった関川の電源開発に伴い、安い電力を求めて多くの企業が進出してきたことに始まった。天然ガスなどの豊富な資源や、直江津港を持つ立地の良さもあり、その後も多くの企業が進出した。こうした背景から、直江津臨海工業地帯などの港湾付近はもとより上流域でも様々な産業の発展を見ることができる。

一方、商業機能はほぼ上越市に集中している。近年では北陸自動車道の上越インターチェンジ付近に大規模な商業地（上越ウイングマーケット、関川東部オフィスアルカディア等）が立地し、流域以外にも商圈を広げている。また上流域においては、恵まれた自然資源を活かして観光・レジャー産業に取り組むなど、地域の特徴をうまく活用した産業が発達している。

地域の特産としては、海産物やレース工芸品に加え、良質米を利用した地酒等がある。



上越 IC 周辺の立地状況

### 3-4 交通

関川流域には大きく分けて、海岸線に沿ったルートと関川に沿ったルートの二大幹線が通っている。

海岸線のルートには北陸自動車道、一般国道8号、JR信越本線、北陸本線などがあり、新潟と富山を結んでいる。関川に沿ったルートには一般国道18号、JR信越本線、上信越自動車道がある。また、このルートには北陸新幹線も着工されており、北陸地方と長野、関東地方を結ぶ交通路としてますます重要性が高まっている。

これら二つの幹線は、関川下流の上越市で交差している。さらに河口付近には国の重要港湾に指定されている直江津港があり、物資輸送や対外貿易の基地となっている。

このように関川下流域は、日本海側地域と中部・太平洋側地域を結ぶ交通の要衝として重要な役割を担っている。

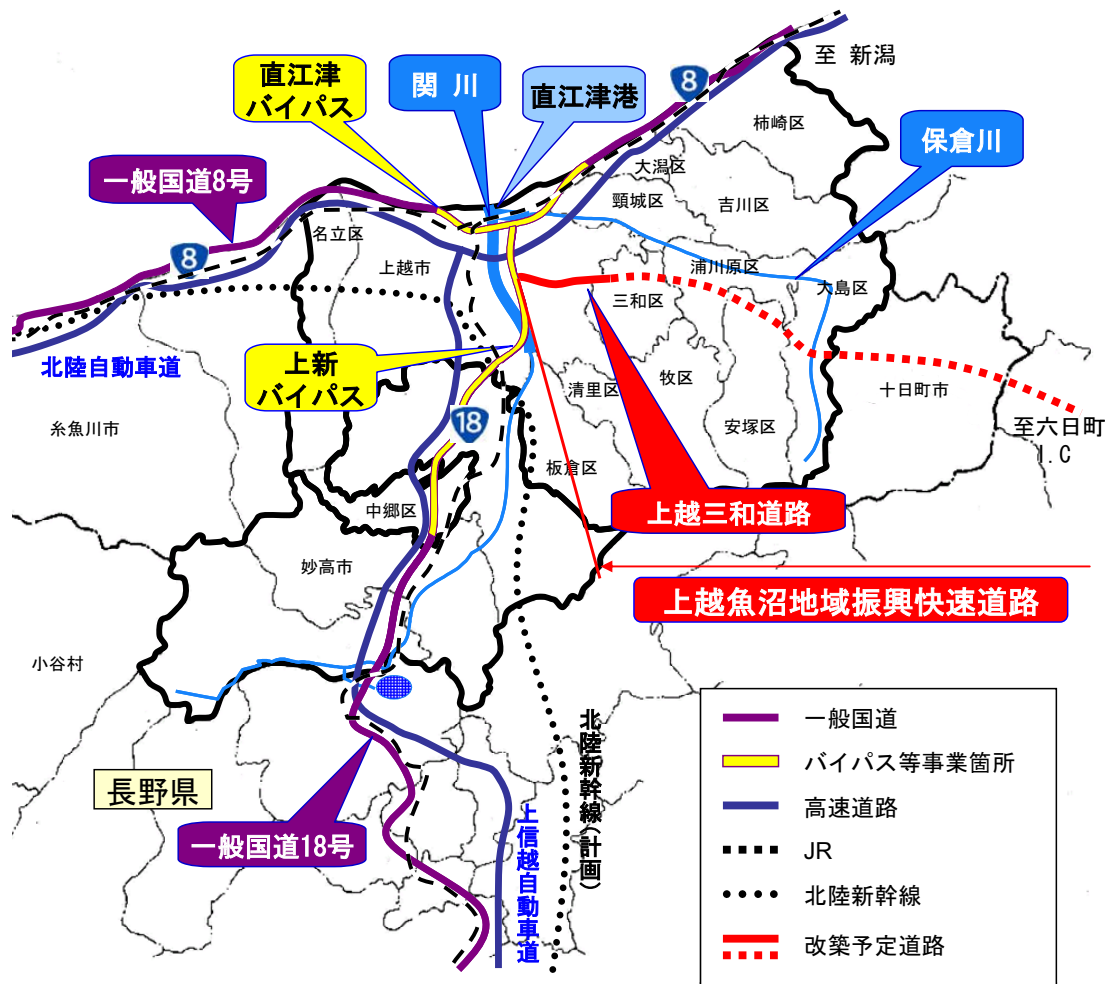


図 3-4 交通体系図